

シラバス(介護職員初任者研修)

10. 振り返り

目的	研修全体を振り返り、本研修を通じて学んだことについて再確認を行うとともに、終業後も継続して学習・研鑽する姿勢の形成、学習課題の認識をはかる。
修了時の評価ポイント	
特に無し	
指導の視点	
<p>○在宅、施設の何れかの場合であっても、「利用者の生活の拠点と共に居る」という意識を持って、その状態における模擬演習(身だしなみ、言葉遣い、応対の態度等の礼節を含む。)を行い、業務における基本的態度の視点を持って介護を行えるよう、理解を促す。</p> <p>○研修を通じて学んだこと、今後継続して学ぶべきことを演習等で受講者自身に表出・言語化させた上で、利用者の生活を支援する根拠に基づく介護の要点について講義等により再確認を促す。</p> <p>○終了後も継続的に学習することを前提に、介護職が身につけるべき知識や技術の体系を再掲するなどして、受講者一人ひとりが今後何を継続的に学習すべきか理解できるよう促す。</p> <p>○最新知識の付与と、次のステップ(職場環境への早期適応等)へ向けての課題を受講者が認識できるよう促す。</p> <p>○介護職の仕事内容や働く現場、事業所等における研修の実例等について、具体的なイメージを持たせるような教材の工夫をし、理解を促す。(視聴覚教材、現場職員の体験談、サービス事業所における受講者の選択による実習・見学等)</p>	
内 容	
<p>①振り返り</p> <p>●研修を通して学んだこと、●今後継続して学ぶべきこと、●根拠に基づく介護についての要点(利用者の状態像に応じた介護と介護過程、身体・心理・社会面を総合的に理解するための知識の重要性、チームアプローチの重要性等)</p> <p>②就業への備えと研修終了後における継続的な研修</p> <p>●継続的に学ぶべきこと、●研修終了後における継続的な研修について、具体的にイメージできるような事業所等における実例(Off - JT, OJT)を紹介</p>	